大学等の研究成果を 企業の成長に活かす 経営企画・戦略支援事業

「組織概要と業務内容」のご説明

「産学官金+証」連携のバウンダリースパナー

一般財団法人 地域未来創生機構 代表理事 中黒 茂司

❖組織概要

<目的>

地方銀行、信用金庫に地方証券会社を加えた地域金融連合体を組成し、中小・ベンチャー企業の技術課題から経営課題解決に至るまで、一貫した支援を可能にする産学官金連携モデルの確立と稼働を目指します。幅広いネットワークや情報・ノウハウを駆使した"人・もの・金・情報"にかかる企業支援はもとより、地域をマネジメントしながら、その分野の産業育成をリードする社会共創プロデューサー人材(Biztechfinter)の育成を全国的な展開事業として推進することで地方創生に貢献します。

くビジョン>

地方銀行や信用金庫に証券会社を加えた「産学 官金+(プラス)証」連携モデルを構築し、地 域企業支援や産業育成に貢献する 金融機関と共に企業の成長を支援するとともに、 地域をマネジメントできる「社会共創プロデュー サー」を育成する

<組織構成>

評議員 松本 邦夫 国立大学法人金沢大学 副学長(産学連携・研究(総括))

同大学 ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)

特任教授 (理学博士)

株式会社ビジョンインキュベイト代表取締役社長

クリングルファーマ株式会社科学顧問

評議員 清 剛治 公立大学法人小松大学国際文化交流学部

大学院サスティナブルシステム科学研究科 准教授

評議員 瀧 浩輔 学校法人北陸学院 法人•大学事務局

副参事・社会連携コーディネーター

代表理事 中黒 茂司

理 事 坂井 貴行 神戸大学バリュースクール 教授

神戸大学大学院経営学研究科 教授

理 事 黒田 喜久 IPOキャピタルパートナーズ株式会社 代表取締役

監 事 松岡 龍司 株式会社ヨシックスホールディングス

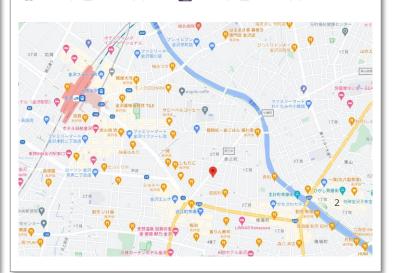
執行役員 経営企画室 室長

株式会社ヨシックスキャピタル 代表取締役社長

<拠点>

T920-0901

石川県金沢市彦三町1-2-1 アソルティ金沢彦三1F 076-204-7550 📾 076-204-7551



♦代表理事 経歴

く兼務・現任>

- ■<u>中小機構 スタートアップ挑戦支援事業</u> スタートアップ支援専門中小企業アドバ イザー
- ■農林水産省

バイオエコノミー推進人材活動支援事業 企画審査員

(主に事業プロデューサーの資質審査)

- ■金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 エクゼクティブコーディネーター
- ■金沢大学発ベンチャーキャピタル 株式会社ビジョンインキュベイト 執行役員(ファンドレイズパートナー)
- ■地方証券会社連携コンソーシアム 運営事務局担当
 - ※全国3地方証券会社と設立
 - ※産学連携、知財活用による企業支援実施

多くの失敗や成功体験、 ノウハウ、 人脈、 を現在の業務でフル活用

産+学+官+金

悪く言えば「職を転々」 良く言えば「多くの経験」・・・

社員 → 歩合外務員

産業育成業務 人材育成業務

(一財) 地域未来創生機構

証券業務

地方証券から現在の三 菱UFJモルガン・ス タンレー証券まで

産学連携業務

国立大学法人 北陸先端科学技術 大学院大学

産学連携活動改革

起業

多くの「失敗」 を経験

経営支援業務

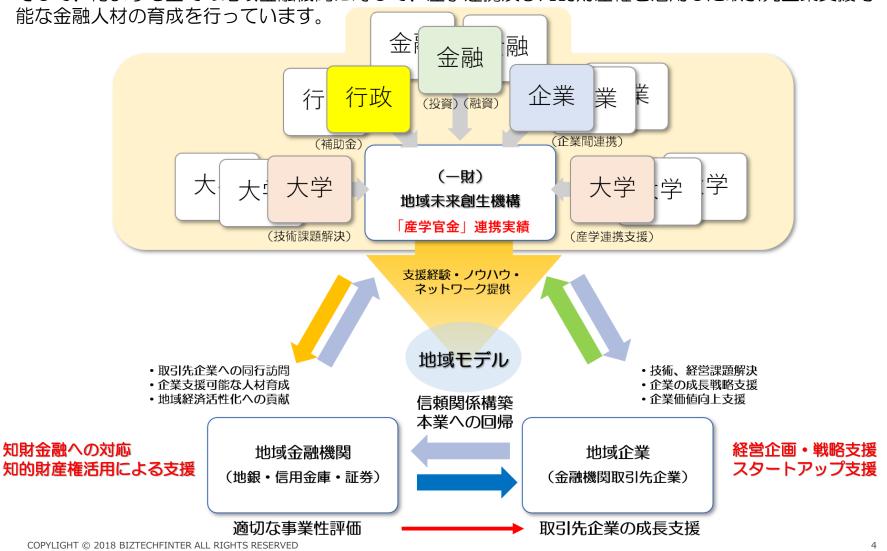
(独) 中小企業基 盤整備機構

インキュベーション施設改革

❖基本的な業務ネートワーク

地方銀行や信用金庫との連携では、技術相談に対応することで取引先企業に対する適切な事業性評価に 導く支援を行うと共に、地方証券会社との連携では将来IPO(新規株式上場)を目指す地域企業の支援も 行っています。

そして、何よりも全ての地域金融機関に対して、産学連携及び知的財産権を活用した取引先企業支援可

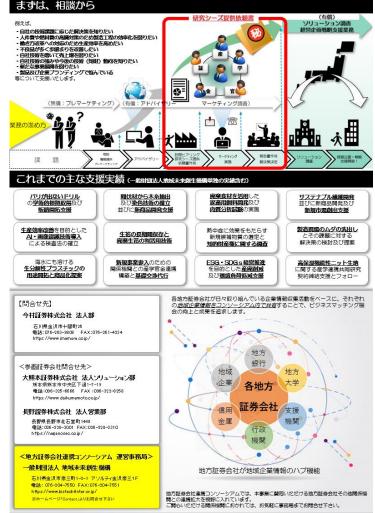


❖「地方証券会社連携コンソーシアム」組成

産学連携や知的財産権を活用した地域企業支援活動を通じ、地方から新規株式公開(IPO)企業の創出促進を目的として、全国の地方証券会社が中心となり設立した連携体。地域金融機関にとって不得手ともいえる産学連携や知的財産権活用による支援スキルを取得しつつ、地域密着地方証券会社の強みを最大限活かした成長戦略支援事業を展開している。

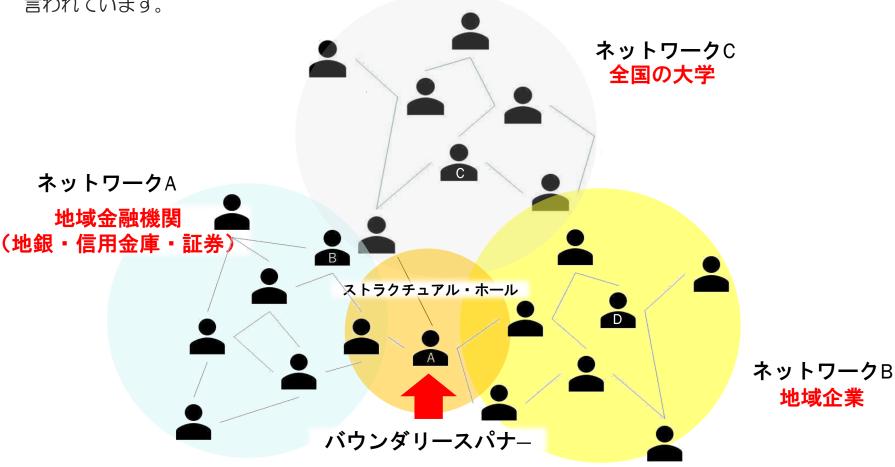
このような活動を通じ、次世代を担う企業創出や産業育成を通じて地域経済に貢献するとともに、新規株式公開(IPO)時の引受業務での相乗効果を目指している。





◆目指すは「学術的根拠を事業に活かすバウンダリースパナー」

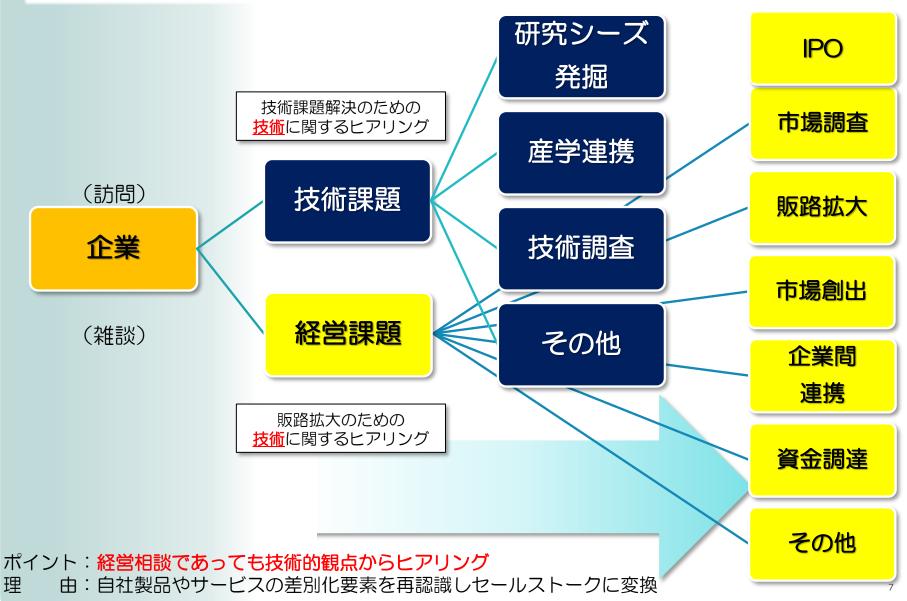
あるネットワークとあるネットワークの間にある「構造的な隙間」のことをストラクチュアル・ホールと言います。この隙間にはさまざまなネットワークから情報が集まってきます。そのため、ストラクチュアル・ホールのところにいる人(バウンダリースパナ―)は情報をコントロールし、得することができると言われています。



バウンダリースパナーは、業務提携、M&Aなど、企業・組織同士の関係が複雑化していく中で「境界を越えて組織/個人をつなぎ、縦横無尽に組織行動に影響を及ぼす者」として、近年重要視されている人材です。当財団法人は、学術的根拠を事業に活かすバウンダリースパナーとして企業価値向上を支援します。

❖企業価値向上へのアプローチ

当財団法人では、プレマーケティングによる情報提供を行い、その後「マーケティング支援」に移行し 「ソリューション調査事業」と「経営企画・戦略支援事業」で支援いたします。



❖主な支援業務

クライアント企業単体を支援するだけでなく、その地域またはその業界の中心的な位置付けを確立するための取巻きを作ります。そして、当財団法人が得意とするインダストリアル・コントラクション業務 (新産業構築)を展開することで、クライアント企業の価値向上を図ります。

企業側立場での活動を徹底 3 8 10 11 12 ヶ月間 アドバイザリー業務 学術的根拠を事業に活かす戦略的思考アドバイス ※調査・報告書提出のみ ソリューション調査業務 約3か月(最長6か月) ※調査・報告に加え、 相手先との基礎交渉、産学官金連携関係構築による事業創出、 経営企画・戦略支援業務 販路拡大、資金調達などの経営企画・戦略全般に関する支援 (企業価値向上支援) 報告 報告 報告 報告 報告 打合せ 打合せ 打合せ 打合せ 打合せ 調查活動 基礎交渉 産学連携 地域連携 販路支援

COPYLIGHT © 2018 BIZTECHFINTER ALL RIGHTS RESERVED

8

❖支援実績と業務フロー

当法人では、大学の技術シーズや知的財産の有効活用(産学連携支援)、中小・ベンチャー企業の経営企 画・戦略(企業価値向上支援)、そして地域金融機関のなかに社会共創プロデューサーを育成すること (人材育成支援) を目的としながら、これまでに以下の主な支援業務を展開して参りました。

バリが出ないドリルの 学術的根拠取得及び 販路開拓支援

間伐材から木糸の抽出及び 染色技術の確立、新商品開 発支援

廃棄食材を活用した 家畜用飼料開発及び 肉質分析試験の実施

サステナブル繊維開発 並びに 新商品開発支援

生産効率改善を目的とした AI・画像認識技術導入によ る検査方法の確立

時間当たりの付加価値額と コスト算出による 働き方改革への対応

熱中症対策効果をもたらす 候補物質の選定と 知的財産に関する調査支援 製造現場におけるムダを洗 い出し、その課題に対する 解決促進策の提案

海水にも溶ける**生分解性プ** ラスチックの用途展開と商 品化提案

新規事業参入のための 関係機関との連携構築と 基礎交渉代行

(有償) 研究シーズ提供依頼書 ソリューション調査 経営企画戦略支援業務

〇〇の長期間保存と 廃棄〇〇の利活用技術

一次産業(農林水産系)

二次産業(業種問わず製造業)

(有償:アドバイ







業務の進め方



(無償:プレマーケティング)















課

題

情報提供 プレマーケティング アドバイザリ

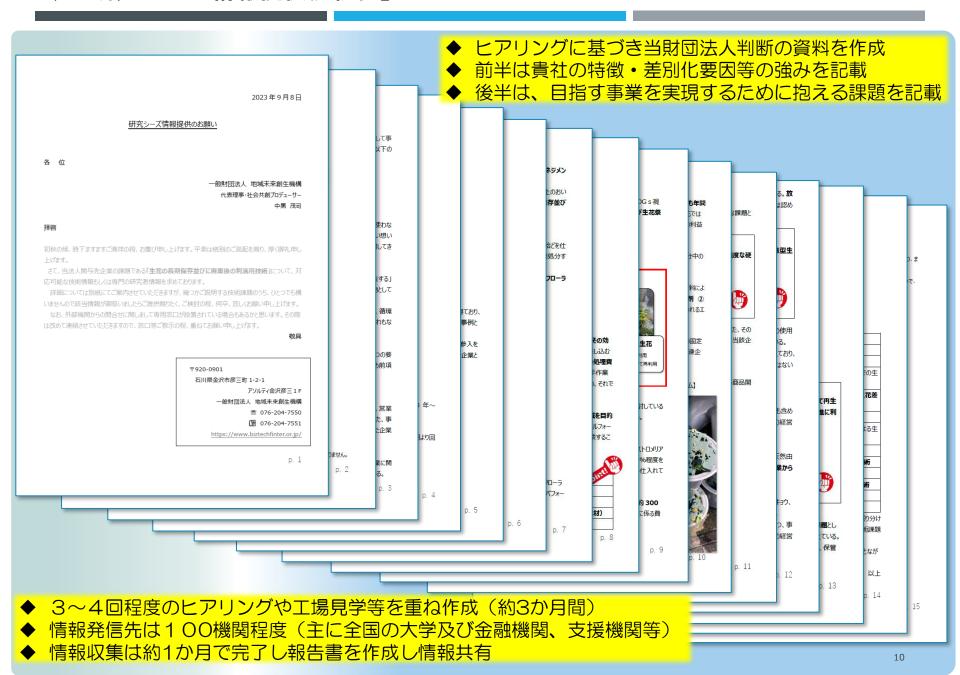
訪問ヒアリング 研究シーズ提供

マーケティング 実施

報告書作成 解決策決定 ソリューション 調査

経営企画・戦略 支援開始!

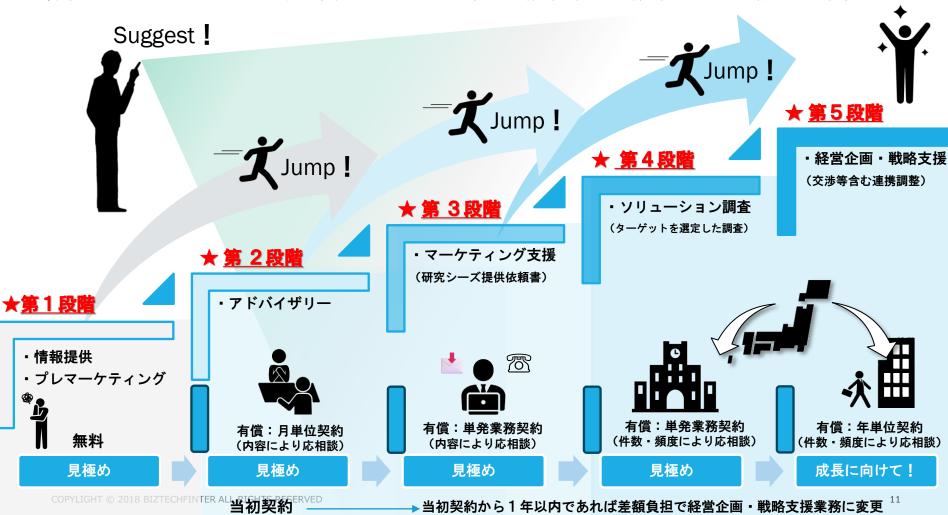
❖「研究シーズ情報提供依頼書」



❖予算とご意向に合わせた支援

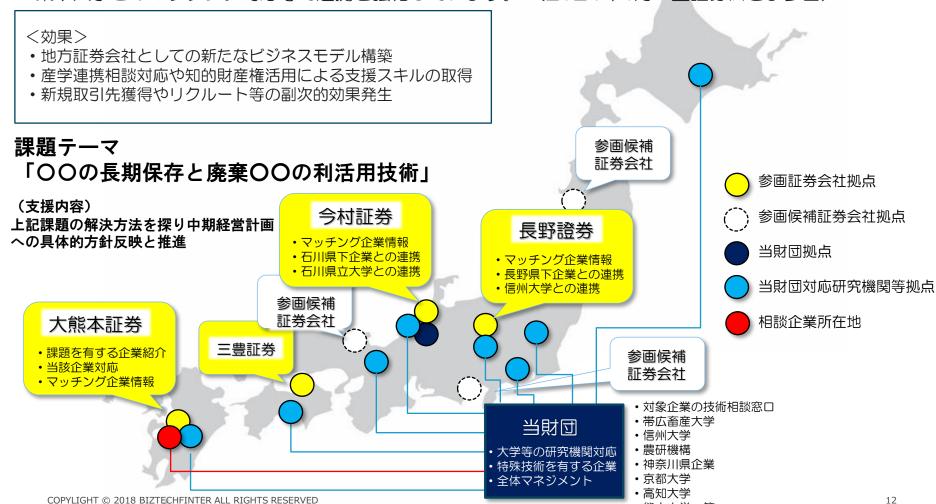
当財団法人では、クライアント企業に対し課題解決への可能性を、段階を踏まえ、費用対効果を見極めながら、継続的に支援いたします。

マーケティング業務以降は、当初契約から1年以内であれば途中で当財団法人が提供する支援業務を変更することが可能です。それまでにお支払いただいた費用分を差し引き、新たな支援業務に係る費用との差額分をお支払いただくことで、実質的に経営・企画戦略支援業務をご提供することに繋がります。



◆事例紹介1 (地方証券会社連携コンソーシアム:地方証券会社連携による実績)

当該課題を抱える企業は大熊本証券(株)さまよりご紹介をいただき、2023年3月に今村証券(株)さまと共に訪問し最初のヒアリングを実施しました。その後、幾度かのオンライン面談と再訪問による現場視察を重ね「研究シーズ提供依頼書」を作成。そして同年9月8日に情報発信、10月23日に調査内容の報告を終え、2024年2月1日に当該企業と当財団法人の間で業務委託契約を締結するに至りました。長野證券株式会社を含めた地方証券会社連携コンソーシアム参画3証券会社とは、それぞれの地域の企業や大学とのマッチング対応等で連携を強化しています。(2024年4月三豊証券㈱さま参画)



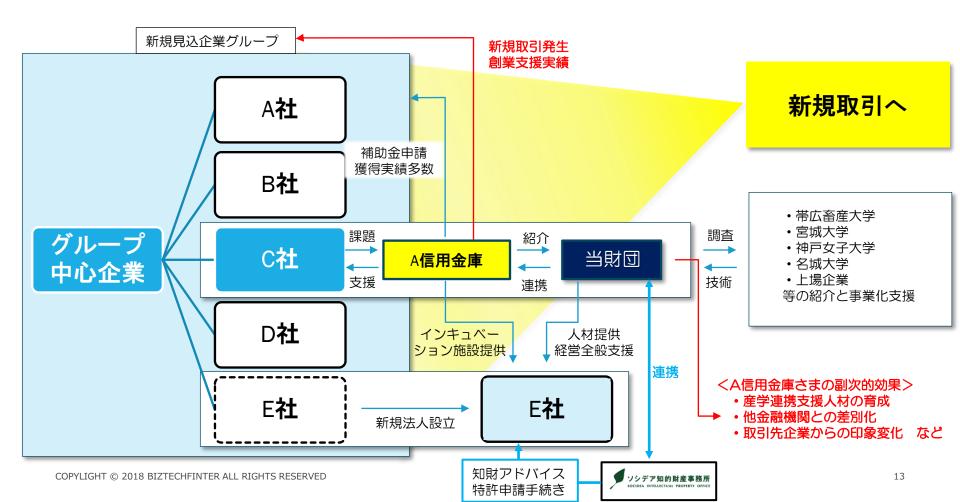
・熊本大学 等

◆事例紹介2 (△信用金庫:新規取引先企業獲得と新規事業創出支援事例)

A信用金庫さまは、いち早く当財団法人との連携にご理解をいただき、当時新規見込企業の獲得を目的として、課題を抱える企業グループの関連会社(複数のうちの1社)の紹介を受け、当財団法人は全国の大学の紹介や共同研究支援を通じ、常に連携しながら同社の課題解決に取り組みました。

3年強にも及ぶグループ会社への継続支援の結果、この企業グループに対する新規融資や補助金申請支援 と獲得実績を多く示し、そして新規事業創出のために新たな法人設立にも関与いただくなど、多くの実績 を有しています。まさに「大学等の研究を企業の成長に活かす」ことを実践しています。

なお当該企業グループは近年急成長しており、地域内でも有力な中堅企業と位置付けられています。



「産学官金+証」連携のバウンダリースパナーとして 貴社の企業価値向上を支援します

-般財団法人 地域未来創生機構

T920-0901

石川県金沢市彦三町1-2-1 アソルティ金沢彦三1F

Tel 076-204-7550

076-204-7551

https://www.biztechfinter.or.jp/

